

## 白石市の永遠のシンボル

# 白石城が今年開門10周年を迎えます

☎総務部生涯学習課 ☎22-1327 ☎22-1451

平成7年5月3日、市民の期待を一身に背負い、市の新しいシンボルとして誕生した白石城が、今年開門10周年を迎えます。

オープン以来、市の観光の拠点として、また郷土の中核施設として市民から親しまれてきた白石城は、今年一つの節目を迎え、次の目標へ向かって新たな一歩を踏み出すこととなります。



市では、この節目の年を記念して、これまで行われてきた市民茶会や菊花展などの開催と併せて、市民をまじえた白石城開門10周年記念事業実行委員会を設置し、新しい市民参加型のイベントを実施して、白石市の活力を市内外へ発信する契機とするとともに、白石城への新たな誘客と地域振興を図ります。(平成17年4月～11月まで、白石城及び白石駅前商店街など)

## 入場者数が100万人を突破しました



▲100万人目、埼玉県久喜市の主婦・柚木美子さん



▲横笛を演奏する「城の会」メンバー

当日はあいにくの雨でしたが、天守閣では、特別出演の喜多流能楽師・佐々木宗生さんの仕舞「田村」をはじめ日本舞踊や箏曲、詩吟、横笛などが披露されました。

### 白石城復元5周年記念「城の会」 (平成12年5月20日)

市内の伝統芸能団体が参加して毎年行われている「城の会」が、「白石城復元5周年記念城の会」を開催しました。

### 片倉小十郎白石城入城四百年記念祭 (平成14年10月27日)

西暦1602年に片倉小十郎景綱公が白石地方を拝領し、白石城に入城して400年を迎えたことを記念して、白石城や碧水園で多彩な催しが行われました。



▲白石城茶会（白石城天守閣ほか）

今年5月2日、白石城のオープン以来の有料入場者数が100万人を突破し、風間市長から白石城の絵柄の入ったとっくりとこけしの記念品が贈られました。

記念すべき100万人目となったのは、埼玉県久喜市の主婦・柚木美子さん(43)。連休を利用して、家族4人で県内を旅行中に立ち寄ったということで、思いがけないプレゼントに驚いていました。

今年開門10周年を迎える白石城について、柚木さんは「白石城は初めて訪れましたが、とても素晴らしいです。」と話していました。

## 白石城開門10年のあゆみ

白石城開門（平成7年5月3日）



▲落成式でのテープカット風景

入場者数50万人を達成  
(平成8年2月12日)

オープン以来の関連施設を含めた有料入場者数が50万人を突破し、記念すべき入場者に、記念品が贈られました。



▲50万人目、東京都杉並区の自営業・孫竹三夫さん

白石城鐘堂落成式  
(平成8年10月12日)

白石城天守閣脇に建設が進められていた白石城鐘堂が完成し、落成記念式が行われました。



▲落成式でのテープカット風景

## ◆◆開門10周年記念予定イベント◆◆

### ①白石城御前試合(仮称)

江戸時代、将軍の前で行われていた囲碁及び将棋の試合を再現し、知的ゲームの一大イベントとして開催します。

8月27日(土)



### ●白石名人決定リーグ戦

囲碁・将棋それぞれ白石市在住の強者8名を選抜招聘してリーグ戦を行い、勝者をそれぞれの名人と認定します。

決勝戦はそれぞれ天守閣で行い、本丸内では、大盤を使用してプロ棋士が同時解説を行います。

### ●団体戦

囲碁・将棋合わせて150名前後の参加者(小中学生を含む)を、それぞれ2チームに分けて団体戦を行います。

### ②白石城・夏の祭典スペシャル(仮称)

市内各地域の神楽、太鼓や日舞などの団体を一堂に会した競演を行い、併せて白石城本丸内をライトアップする「白石夏の夜の宴」を展開します。

### ●伝統芸能披露

白石城本丸芝生広場に特設ステージを設け、太鼓、神楽、長唄、謡曲、日舞などを披露します。

●太鼓グループなどによる共演  
昔、京都のお囃子をもとにつくられたという「白石囃子」を基にアレンジ・作曲した「景綱囃子(仮称)」を、太鼓・神楽などの団体が共同で演奏します。さらに踊り(振付)も創作します。

また、この日は本丸内において屋台コーナー、フリーマーケットなどのスペースを設け、地域特産品や手作り品の販売を行ったり、大道芸人による演技披露も行います。

### 10月下旬

### ③親子甲冑武者・初登城白石城(仮称)

夏休み期間を利用して、甲冑工房「片倉塾」の協力のもと、市内小学生(5・6年生)や親子で甲冑づくりを行います。その後、つくった甲冑を身につけ、在来線白石駅から白石城まで総勢150名の甲冑行列を行い、白石城本丸で凱旋式を行います。また、行列の道中や本丸内でもイベントを行います。